

日本学術会議 史学委員会 博物館・美術館等の組織運営に関する分科会  
(第25期・第7回)  
議事要旨

日 時：令和5年3月24日(金) 14:00～17:00

場 所：日本学術会議5-A(1) 会議室及びオンラインのハイブリッド開催

出席者：池上裕子、小佐野重利、菊地芳朗、木俣元一、佐藤宏之、芳賀満、橋本佳延、松田陽、來田享子、渡辺晋輔

欠席者：秋山聰、小津稚加子、瀬谷愛

配布資料：

(1) 前回の分科会議事要旨

議事概要：

(1) 前回議事要旨の確認

前回第6回分科会の議事要旨案が確認、承認された。

(2) 見解案「2022年改正博物館法を受けて今後の博物館制度のあり方について」(仮称)のブラッシュアップ

本分科会として見解案「2022年改正博物館法を受けて今後の博物館制度のあり方について」(仮称)を準備する上で、日本学術会議の第一部役員会ならびに科学的助言等対応委員会より出された意見や助言、情報を考慮しながら、見解案をいかに改稿すべきかを注意深く検討した。この検討結果を踏まえ、4月15日までに見解案を改稿した上で第一部役員会に提出し、その後、さらなる修正を行う予定であることを確認した。

(3) 今後の分科会の活動について

本部会から見解を発出する可能性を見据えて、見解のテーマに沿ったシンポジウムの開催を目指す。

(4) その他

次回の分科会は、2023年7～8月頃に開催することを確認した。